

第4回コミュニティ推進基本方針策定懇話会 議事録

1. 日 時 平成25年7月4日(木) 18時00分～21時00分
2. 場 所 地域づくり支援センター2階視聴覚室
3. 議 題 ワークショップ
 - ・前回の振り返り
 - ・解決策を考えていく
 - ・まとめ(発表)
4. 出席者 別紙2のとおり
5. 配布資料 市民活動活性化講座チラシ
6. 議事録

(1) 会長あいさつ

毎回ハードな日程で協議が進んでいますが、円熟期に入り、最終段階の中で、皆様の忌憚のない意見や協議について、引き続きよろしく申し上げます。

(2) 議事

◆前回のふりかえり、本日の協議内容説明

(ファシリテーター)

本日の会議の目的について説明する。

- ・基本方針を作る上で、前回は現状の課題を抜き出したが、今回は未来志向の話(解決策等)を考えていく。

(例) ・地域自治会にどんな機能があったら？

- ・地域・自治会に何が必要？
- ・市民がどんな意識だったらいい？
- ・具体的なアクションは？

↓

色々なアイデアを出す

↓

整理する(次回ワークショップでも再整理)

↓

市に委ねる(基本方針素案)

◆ワークショップ

※3 グループに分かれて協議する。協議した内容を持って他のグループに移動し、協議を深め広げていく。(グループをシャッフルし、参加者全員が協議できるような仕組み：ワールドカフェ方式)

①今のグループ (20分) →グループ変えて (20分) →元に戻って (20分)

②元のグループに戻り まとめ 19:50~20:15

③各グループ発表 20:15~ 各5分

※女性と男性のグループに分かれ、女性オリジナルの視点を出していきたい。

※未来志向の解決策について、最初のグループでとりまとめをする。

※各グループで発表する際、それぞれのベスト案を3つ出す

※各グループの協議内容の詳細は、別紙 A~C グループ

各グループの発表

Aグループ

第1位 自治会に関すること

- ・任期を工夫する、研修をする、コーディネートできる人材の育成など「人材の育成」に力を入れる。

第2位 若者に関すること

- ・若者だけの部会を作る、若者の交流のば、新しい若者の参加、役員に若者・女性を入れるなど。

第3位 イベントの工夫

- ・若者や子どもが参加するイベント、多世代が参加できる催しを用意する。

Bグループ

ベスト3の発表だったと思うが、このグループでは物語ができたのでそれを発表する。

キーワードは「ちょこっと地域を育てる」

①大きいところ（公民館や地域の組織等）で子育てや地域などの身近なことを話すことは難しい。

⇒小さな場（食事会や趣味の集まり等）をつくって、おしゃべりをする。

※同じレベルで話すことで新たな発想も出てくるかもしれない。

※こうしたニーズを汲み取る場をつくる（ちょこっと地域）

②ニーズを企画に結びつける場を作る際、発言したらその人がやらないといけないが、プロジェクトチームをつくって進めていく。

※こうしたチームが明るく育つためには組織が民主的で柔軟でないといけない。

③新しい場である「ちょこっと地域」と並行して、地域の危機感や意識の啓発、公民館の組織の問題等についても併せて考える場も必要。

※新しい場を支えるためにも必要。

C グループ

○高齢者は非常に元気・活発な中で、若者が地域のことにどれだけ関わられるかに達していない。

※自分の生活で一生懸命で余裕がないのではないか。

①地域の若者の人材育成

※周防にはシニクラブがあるが、こうした組織が新しいひよこをどんどん生み出すことが高齢者の役目。

②若手役員の登用

※教えて、やってもらって、ほめて、拍手をする。

※自主運営組織や自治会が各地域での母体になっているはずだが、ころころ変わるようではいけない。

⇒計画的な自治会の運営を考える。

③自主運営をさせてほしい

※地域あった方法や社会のやり方の中で、地域にあった子どもの育て方など。各地域で王国を作っていこう。

※行政は下支えをする役割。

(ファシリテーター)

今の発表で、人材、語り場、若者、女性、危機感、組織、計画、楽しく、運営など共通するキーワードがあったと思う。こうした言葉を汲みながら、前回の課題の部分と今回の様々な皆さんからのアイデアと、懇話会と並行している市の職員の仕組み作り等を併せて、事務局が素案という形でまとめ、再度皆さんの意見を少しずつついでながら調整をしていく段取りになってくる。

今日の予定は終了したので、今日の感想や確認しておきたいことがあればお願いしたい。

(A 委員)

1点目は、発表の中で王国を作るとあったが、私は、もっと行政に関わってもらいたい。つまり、地域の自治会長や役員の研修を地域がやるといっても、現状では知れている。今回のようにファシリテーターを呼んで、地域を補佐することも大切で、その中で、機能する組織を作っていく。

2点目は、公民館や地区社協はお金をもっていて、連合自治会はお金がない中で、こうした組織に委ねているが、こうしたものをフォローする形で全体としてコミュニティとしてやろうということになっている。これを理解しておか

なければいけない。

3点目は、例えば浅江でいえば、「ニジガハマギク」を題材として1年の行事の中に色々な仕掛けをしている。室積にも盆踊り、光井にも文化祭、周防にもシニアと地域の密接した活動などの各地域のいい事業があるのだから、それぞれの仕掛けや工夫について、他の地域に発表・研修する機会を設けて、みんなが共有できたらいい。

(ファシリテーター)

地域の中のいい事例を学ぶことは大切。また、各地域の中に語り場みたいなものが多様にあれば、お金や情報のこと、いい事例や失敗事例なども含め、共有値が高くなってくる。

(事務局)

次回については、8月8日(木)を予定しており、地域づくり支援センターで開催することとしたい。